

もっと市民のくらし・福祉・教育応援を!

2012年度予算案は、総額 2844 億 556 万円。西宮市財政の大きな特徴である一般財源は 1078 億円で、前年度とほぼ同水準を確保しています。歳出では、前年度に比べて投資的経費は約 90 億円減額、公債費（借金返済）は約 30 億円減り、基金残高は 120 億円以上となり、市民の要求に応えることができる安定した財政状況となりつつあります。

この財源をいかし、福祉、教育、地域経済活性化にもっと積極的に取り組むべきです。

アサヒビール跡地利用など 総合計画の中間見直し

西宮市は、アサヒビール跡地に中央病院をはじめ、西宮消防署、中央体育館、防災公園など 240 億円もの費用を要する公共施設整備計画（案）を発表。新年度は、基本構想案などのプラン作成の予算が計上されています。

あわせて、市総合計画の中間見直しも行われます。



また、予算案には、防災センターや阪急武庫川駅新設についての調査費用が盛り込まれています。

多額の費用を要する公共事業のプランが目白押しとなっており、日本共産党議員団は「まちづくりは住民本位に」という立場で、事業の必要性や優先度などを検討していきたいと考えています。

「財政きびしい」と 小学校のエアコン設置先送り

多額の整備費用が必要な事業が計画化される一方、「厳しい財政状況」を理由に、普通教室のエアコン設置は、中学校（2013、14 年度実施）のみで、小学校は先送りの予算案となっています。

また、福祉医療助成では県「行革」に追随し、子ども、障害者等の所得制限を、現行保護者所得から世帯合算に変え、給付世帯を削減します。

2012年度予算総額			
	2012年度	2011年度	前年度比
一般会計	1597億円	1741億円	8.2%減
特別会計	794億円	751億円	5.7%増
企業会計	453億円	484億円	6.5%減
総計	2844億円	2976億円	4.4%減

一般財源内訳(単位:千円)			
	2012年度	2011年度	差引
市税	80,349,888	80,978,065	-628,177
譲与税・交付金	6,113,002	6,348,002	-235,000
地方交付税	9,161,000	10,917,000	-1,756,000
臨時財政対策債	7,678,000	6,549,100	1,128,900
その他	738,696	5,513,333	-4,774,637
財政基金取崩し	1,000,000	1,000,000	0
減債基金取崩し	2,992,000	2,337,000	655,000
合計	108,032,586	113,642,500	-5,609,914

新年度予算案の特徴は・・・

◎前年度の土地開発公社からの塩漬け土地の買い戻しなどがなくなり、一般・特別会計総額は昨年比で、約 100 億円の減額。市は「緊縮型予算」と称しています。

◎不況による市民税の約 5 億円の落ち込みと、固定資産税の評価替えによる減とで、約 18 億円の減収となりますが、年少扶養控除廃止による増収で、市税全体では約 6 億円の減。子ども手当の減額などで、地方特例交付金と地方交付税は約 22 億円の減収となっています。

◎昨年の東日本大震災により、新年度は防災関係の予算が計上されています。地域防災計画の見直し、津波避難ビルや広域避難地などへの看板設置、津波・洪水浸水地域への地域防災マップ作成などに取り組みます。

子育て世代も

高齢者も 負担増!

「年少扶養控除」廃止で 12 億円の増税

介護保険料 21%、後期高齢者医療で 6%の値上げへ

野田民主党政権の増税と社会保障のきりすて政策が市政にも大きく影響しています。

子ども手当と引き換えに実施された、年少扶養控除（16 歳未満の扶養に対する税控除）廃止で、約 12 億円の増税となっています。一方、子ども手当は総額約 29 億円の減額、保育所保育料の最高額が約 6%アップ（3 才未満児は月額 93600 円→98800 円）となり、負担増と給付減が子育て世代の市民に重くのしかかっています。

また、今年改定の介護保険料は基準額（第 4 段階）で月額 4088 円→4947 円になります。後期高齢者医療保険料も月額 5893 円→6252 円になり、高齢者にとっても大変な負担増です。

これに加え、消費税 10%では、たまったものではありません。